

徳川みらい学会 in 浜松

「浜松城時代の家康と

井伊直虎・虎松」

静岡大学名誉教授・徳川みらい学会会長

小和田哲男氏



徳川みらい学会 in 浜松講演会を8

月25日(金)、クリエート浜松で開催。

NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」

の時代考証をつとめている小和田哲

男氏が講演しました。講演要旨は次

の通り。(文責・企画広報室)

桶狭間の戦い後の  
家康と井伊氏

今川氏の傘下に入っていた家康は、桶狭間の戦いで義元が討たれたことを契機に自立します。三河一国を治めると、少しずつ遠江に手を伸ばしていきます。戦国時代の武士は上昇志向なので、少しでも領土を広げて、臣たちに褒美として土地を与えることが必要なのです。

その過程で虎松の父・井伊直親が家康と内通の疑いありということ、今川氏真から呼び出されて、桶狭間の戦いの2年後の永禄5年(1562)に掛川城下で殺されます。

虎松の命も危ないので、新野左馬助親矩の差配で三河の鳳来寺に逃が

しました。井伊家には男性がいなくなつたので、出家していた次郎法師が

家督を継ぐこととなります。戦国時

代には女性に家督を継がせてよいル

ールがありました。寿桂尼の存在が、

次郎法師に直虎という名前が家督を

継がせる後押しをしたのではないで

しょうか。

今川氏は、井伊谷を直轄地にして、

三河から遠江に伸びてくる家康の防

波堤にしたいと考えて、難題をふっか

けます。そのひとつが徳政令です。

徳政とは、百姓たちが瀬戸方久の

ような高利貸から借りている借金を

棒引きにすることで、井伊氏も方

久に財政的基盤を支えられており、

方久が倒れば、井伊氏も倒れるこ

とになる。それを狙って、今川氏は井

伊谷に徳政令を出そうとしました。

直虎は、それを知って2年間、徳政

令を凍結しますが、最終的には永禄

11年(1568)11月9日に署名して

徳政令を実行します。その直後に直

虎は、次郎法師に戻って、龍潭寺に逼

塞しました。

信玄と結んで

今川氏を滅ぼす家康

その直後、武田信玄は「甲相駿三

国同盟」を破棄し、信長からの働き

かけで家康と手を結んで、しめしあ

わせて軍事行動をとります。12月13

日に信玄は駿河に攻め込みます。

同日、家康は菅沼忠久、近藤康用、

鈴木重時の井伊谷三人衆を先導役

に遠江に攻め込み、井伊谷は三人衆

に与えられます。家康はその後、引馬

城を攻め、さらに東へ進み、高天神城

の小笠原氏を戦わずに味方につけ、

最後まで抵抗した掛川城を永禄12

年5月に講和開城させました。

浜松城主となる家康

家康は三河と遠江の2カ国を支配

するため、遠江の政治の中心地である

見付(磐田市)に城を造り始めます。

しかし、信玄が大井川を越えて北

遠に軍勢を送りこんできたため、引

馬城を拡張する形で城づくりを始め、名前を浜松城と変えます。

その浜松城では、信長の命を受けて、信玄の侵攻を防ぐため、三方ヶ原の戦いで大敗北を喫します。

虎松を家康に出仕させる直虎

その頃、虎松は鳳来寺で僧兵たちから武芸を習い、学問を勉強して

ました。天正2年(1574)、直親十

三回忌に龍潭寺に戻った14歳の虎松

は、母の再婚相手の松下源太郎清景

の屋敷に連れ子として入ります。

直虎は、母と仕立てた小袖で虎松

を正装させ、天正3年2月15日の鷹

狩の日に家康に謁見させました。

家康は、虎松の父・直親が自分との

内通を疑われて殺されたこともあ

り、虎松に万千代という名を与えて

仕えさせました。切腹した長男信康

の代わりに、築山殿の親類である万

千代を可愛がったのかもしれない。

万千代は、天正9年の武田氏との

高天神城の攻防戦で軍功を表しま

した。本能寺の変勃発後の家康の伊

賀越えの道中では大活躍。信長の死

で混乱状態の甲斐・信濃では北条氏

直との和平交渉をまとめました。天

正18年(1590)小田原攻め後は12

万石の上野箕輪城主に抜擢され、徳

川家臣団のトップとなりました。

関ヶ原の戦いの時の鉄砲傷がもとで、2年後、42歳で亡くなりました。

個人・法人会員を随時募集しています。皆さまのご入会をお待ちしております。

〈お問い合わせ〉徳川みらい学会事務局 〈TEL〉284-9660 〈H P〉

徳川みらい学会

検索